

令和5年度 第四次福井県恐竜化石発掘調査計画

1 調査目的

恐竜博物館が勝山市北谷町の恐竜化石発掘現場で行った第三次恐竜化石調査（平成19年度から22年度まで実施）では、3種の新種の恐竜を発見した。

第四次恐竜化石調査は、平成25年度から、3次調査現場の下流側で発掘調査を行っている。これまでアンキロサウルス類の歯やオルニトミモサルス類の四肢骨、フクイプテリクス（令和元年度命名）など、新しい発見が相次いでいる。

令和5年度は、小型の脊椎動物化石や獣脚類の追加標本など、引き続き万全な調査を行う必要があるほか、第五次発掘の準備として昨年度発掘した足跡層部分を掘り下げる必要がある。したがって本年度も、下流側に残っている同じ層準を慎重に発掘調査を行い、新たな部位や種類の発見につなげたい。

2 調査期間：令和5年8月10日（木）から9月9日（土）までの27日間

※当初は7月24日に開始予定だったが、7月12～13日の大雨により被害を受けた林道の安全確認のため開始日を延期していた。

3 調査予定地：勝山市北谷町大字杉山94字土倉山7，8

4 調査予定面積

約100平方メートル（足跡化石面を含む）

5 調査関係者

総責任者 谷川 由美子（恐竜博物館館長）

副責任者 一島 啓人（恐竜博物館副館長）

寺田 和雄（恐竜博物館研究・展示課長）

調査顧問 西 弘嗣（恐竜博物館特別顧問・福井県立大学教授）

現場責任者 柴田 正輝（恐竜博物館主任研究員・福井県立大学恐竜学研究所教授）

現場副責任者 関谷 透（恐竜博物館主任研究員）

調査員 当館研究職員12名（県立大学恐竜学研究所併任を含む）および学芸員3名
他大学の教官、理科系教員など

調査補助員 地質学または古生物学を専攻している大学院生

調査協力 勝山市・勝山市教育委員会

特別協力 福井県立大学恐竜学研究所